

# 1、オリーブ（果実）生産用に使用できる農薬抜粋（網掛け      は有機 JAS 対応）

- 変更点：①セイビアーフロアブル20が「炭疽病」対象で登録（9月21日）  
 ②ダントツ水溶剤、ベニカ水溶剤に「マエアカスカシノメイガ」対象を追加（9月26日）  
 ③ダントツ水溶剤、ベニカ水溶剤「ミナミアオカメムシ」対象を「カメムシ類」に変更（9月26日）

農薬名	病害虫名	希釈倍数等	使用時期	回数
スミチオン乳剤 <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	オリーブアナアキゾウムシ	50倍樹幹散布 (葉にかけない)	収穫21日前まで	年間3回以内
アディオン水和剤	オリーブアナアキゾウムシ カメムシ類 ハマキムシ類	2000倍	収穫7日前まで	年間2回以内
<span style="background-color: #cccccc;">薬</span> (4000倍のみ) ダントツ水溶剤 ベニカ水溶剤 (同一成分)	オリーブアナアキゾウムシ 新マエアカスカシノメイガ 変更カメムシ類	2000~ 4000倍 2000倍	収穫前日まで	総使用回数 同一成分 年間2回以内
ベニカベジフルスプレー	オリーブアナアキゾウムシ	原液		
モスピラン顆粒水溶剤	カメムシ類	2000倍	収穫7日前まで	年間1回以内
スタークル顆粒水溶剤 <span style="background-color: #cccccc;">薬</span> アルバリン顆粒水溶剤 <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	カメムシ類	2000倍	収穫前日まで	総使用回数 同一成分 年間2回以内
バイオセーフ <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	オリーブアナアキゾウムシ幼虫	2500万頭 (約10g)/50L	幼虫発生期	—
デルフィン顆粒水和剤 <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	ハマキムシ類 ケムシ類	2000倍 1000倍	発生初期、収穫前日まで	—
トップジンMペースト <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	切り口及び傷口の癒合促進	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	年間3回以内
トップジンM水和剤	梢枯病	1000倍	収穫30日前まで	年間2回以内
ICボルドー66D <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	炭疽病	50倍	—	—
ペンコゼブ水和剤	炭疽病	600倍	収穫90日前まで	年間2回以内
アミスター10フロアブル <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	炭疽病	1000倍	収穫30日前まで	年間2回以内
新セイビアーフロアブル20 <span style="background-color: #cccccc;">薬</span>	炭疽病	1000倍	収穫7日前まで	年間2回以内
除草剤名	雑草名	処理方法	使用時期	回数
ラウンドアップマックスロード <span style="background-color: #cccccc;">薬</span> 濃度使用量は確認下さい	1年生雑草・多年生雑草・スギナ・マルバツユクサ	雑草生育期、雑草茎葉散布	収穫7日前まで	総使用回数 同一成分 年間3回以内
サンフーロン 濃度使用量は確認下さい	1年生雑草・多年生雑草			
ザクサ液剤 濃度使用量は確認下さい	1年生雑草・多年生雑草	雑草生育期 草丈30cm以下	収穫前日まで	年間3回以内
プリグロックスL 濃度使用量は確認下さい	スギナ・1年生雑草・多年生雑草	雑草生育期、雑草茎葉散布	収穫前日まで	年間5回以内

- ・「果樹類」に登録がある農薬は、同じ対象病害虫の場合には使用できます。同じ成分でも「オリーブ」「果樹類」に登録がない農薬は使用できません。
  - ・せん定枝の葉を利用する場合は「オリーブ(葉)」の登録農薬及び内容でしか使用できません。
- 注) 変更等があるので農薬のラベルや [www.famic.go.jp](http://www.famic.go.jp) で最新の登録内容を確認して下さい。

## 2、オリーブ（葉）生産用に使用できる農薬抜粋（網掛けは有機 JAS 対応）

変更点：①セイビアーフロアブル20が「炭疽病」対象で登録（9月21日）

②ダントツ水溶剤、ベニカ水溶剤に「マエアカスカシノメイガ」対象を追加（9月26日）

農薬名	病害虫名	希釈倍数等	使用時期	回数
スミチオン乳剤	オリーブアナアキゾウムシ	50倍樹幹残布 (葉にかけない)	収穫120日前まで	年間3回以内
ダントツ水溶剤 ベニカ水溶剤（同一成分）	オリーブアナアキゾウムシ <b>新マエアカスカシノメイガ</b>	4000倍 全体散布	収穫120日前まで	総使用回数 同一成分 年間2回以内
バイオセーフ	オリーブアナアキ ゾウムシ幼虫	2500万頭 (約10g)/50L	幼虫発生期	—
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	カメムシ類	2000倍	収穫14日前まで	総使用回数 同一成分 年間2回以内
デルフィン顆粒水和剤	ハマキムシ類	2000倍	発生初期、収穫前日まで	—
	ケムシ類	1000倍		
アミスター10フロアブル	炭疽病	1000倍	収穫30日前まで	年間2回以内
<b>新セイビアーフロアブル20</b>	<b>炭疽病</b>	<b>1000倍</b>	<b>収穫60日前まで</b>	<b>年間2回以内</b>
トップジンMペースト	切り口及び傷口の 癒合促進	原液	剪定整枝時、病患部削り取 り直後、及び病枝切除後	年間3回以内
ICボルドー66D	炭疽病	50倍	—	—
除草剤名	雑草名	処理方法	使用時期	回数
ラウンドアップマックスロ ード 濃度使用量は確認下さい。	1年生雑草・多年生雑 草・スギナ・マルバツユ クサ	雑草生育期、 雑草茎葉散布	収穫21日前まで	総使用回数 年間3回以内

- ・このほかの農薬でも、「野菜類」に登録がある農薬は、同じ対象病害虫の場合には使用できます。ただし果実生産併用の場合は果実用の登録が必要です。
- ・同じ成分でも「オリーブ(葉)」「野菜類」に登録がない農薬は使用できません
- ・せん定枝の葉を利用する場合はこの面の農薬しか使用できません。使用時期についてはよく確認して下さい。
- ・**オリーブ(葉)に使用できる除草剤が増えていますが、登録内容により実際には使用できないものがあります。例えばサンフーロンは耕起（植え付け前の）7日前にしか使用できません。**

注) 変更等がありますので農薬のラベルや [www.famic.go.jp](http://www.famic.go.jp) で最新の登録内容を確認して下さい。